

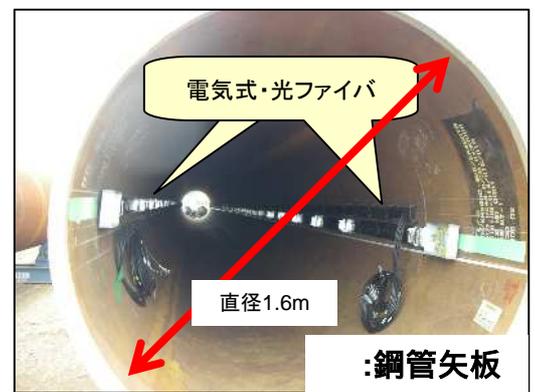
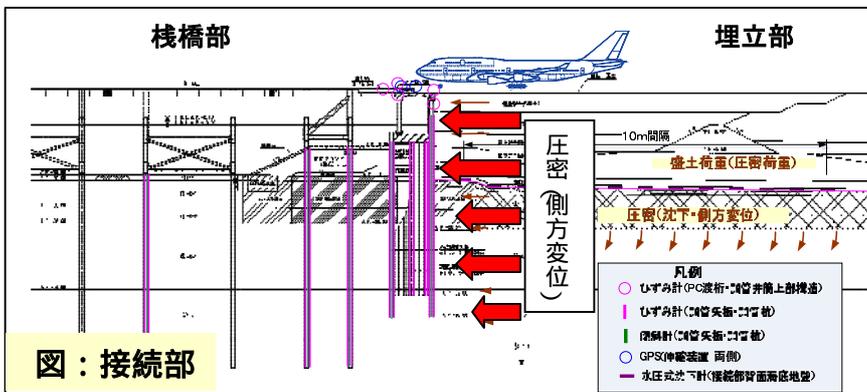


埋立部	棧橋部
接続部	連絡部
環境	その他
工種名：動態観測工	

埋立部 接続部 棧橋部 連絡誘導路部などの特に重要な地点に計器が設置されています。

現在建設中のD滑走路には、施工中、供用後の挙動をモニタリングするために、空港島の各所に計測機器が設置されています。

今回は接続部の動態観測について紹介します。接続部の滑走路直下の鋼管矢板には電気式と光ファイバセンサによる、ひずみセンサが設置されており、接続部背面の盛土荷重による土圧や地震などによる杭への影響(図)を把握することができます。写真は、ひずみセンサ(電気式・光ファイバ)が設置されている直径1.6mの鋼管矢板です。



左の写真は、接続部の滑走路直下に設置されている、光ファイバセンサの計測を現場にて実施しているところです。正常に計測ができているかを確認するとともに、現時点の計測結果から、施工時の挙動を把握することができます。

今回紹介した計測機器などを用いて、供用後のD滑走路の常時及び災害時の挙動を的確に把握することにより、災害時の空港の早期復旧に資することができます。